

“令和5年度 愛知県歯科医学大会”開催のお知らせ

愛知県歯科医学大会・中部日本デンタルショーは集合型(一部ハイブリッド)で開催予定

日時：R6年2月17(土) 12:00~18:30 / 18(日) 9:00~16:00

場所：名古屋市中企業振興会館(吹上ホール)

●(公社)愛知県歯科衛生士会講演

日時 2月18日(日) 12:50~14:10

場所 7階メインホール(集合型)と、ウェビナー(オンライン)のハイブリッド

演題 「歯周基本治療の効果を最大限に発揮するためには」

講師 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座

日本歯科大学附属病院総合診療科 准教授 関野 愉先生

抄録

歯周炎は口腔バイオフィルムのディスバイオシスが関与する多因子疾患と考えられている。しかし主な原因は歯面に付着するバイオフィルム(プラーク)であることには変わりなく、そのコントロールが歯周治療成功の鍵となる。そのためにはまず患者自身による口腔清掃の水準を高めるためのモチベーションやブラッシング指導を行い、その後に歯肉縁下のデブライドメントに進んでいく。これがうまくいけば、それだけで炎症の消退が期待できるが、技術的問題や歯根面の解剖学的形態の複雑性などの問題から、重度の歯周炎の場合に歯周外科に進んでいくか、あるいは抜歯にいたることもしばしばである。

近年、超音波スケーラーのチップが歯肉縁下に到達し、かつ侵襲が少ない形態に改良され広く用いられている。しかし超音波スケーラーも使い方を誤るとオーバーインスツルメンテーションがおこり歯質を過剰に削除することになる。逆にいうと、正しく使うことで効率が良くかつ歯質の傷害を最小限にすることが可能な器具であるとも言えるので、正しい使い方を習得する必要がある。さらに、近年ではマイクロキュレットや超音波スケーラーのマイクロチップを使用した低侵襲非外科的歯周治療の良好な成績が報告され、治療法がますます進化してきている。今回の講演では、非外科的歯周治療をどのように行うことで最大限の効果が得られるか、解説していきたい。



***オンライン受講は、2月17日(土)までに、事前登録が必要です。**

「愛知県歯科医師会 HP <https://www.aichi8020.net/>

→NEWS(おしらせ) → 医療従事者の方 →2023.12.6 令和5年度愛知県歯科医学大会」
からお申し込みください。

(公社)愛知県歯科衛生士会学術大会

「第 18 回会員ポスター発表 および 報告会」

会員の自己研鑽の場として、また歯科衛生業務の多様化に伴い社会の要望に対応できる歯科衛生士を目指すべく、各々が日々の取り組みをポスターにして掲示・発表します。

今回は、令和5年度に行われた歯科関連の学術大会での発表報告もいたします。さまざまな現場で活躍する歯科衛生士の活動を見たり、学会での発表を聞いたりしてみませんか。皆様それぞれが未来を見つめ目標を立てる有意義な場となれば幸いです。ぜひお立ち寄りください。

* 写真撮影については、「発表時間帯に発表者の許可を得た場合のみ」可能とします。

日 時 2月18日(日) 14:30~15:10

場 所 第1ファッション展示場 愛知県歯科衛生士会コーナー

○伊東祐衣 かすみおしむら歯科 (本学術集会で発表)

「患者さんの全身から眺めるメンテナンス」

○岩瀬賀恵 医療法人義興会 可知記念病院

(第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会(令和5年)ポスター発表の報告)

「神経性食思不振症患者の摂食嚥下障害に対し機能訓練を行うことにより経口からの栄養摂取が可能となった一例」

○石上真麗 名古屋市保健所緑保健福祉センター

(第82回日本公衆衛生学会総会(令和5年)ポスター発表の報告)

「地域高齢者における主観的な嚥下機能と口腔関連 QOL に関する研究」

出張 なんでも相談

当会ではホームページ上に「歯科衛生士のためのなんでも相談窓口」を設け、主にメールで多様な相談に対応しています。

昨年度から本会場の一角に相談場所を設け、歯科衛生士の働き方やキャリア、職場環境や業務上の悩みなど、面談形式で質問や相談に応じています。

さまざまな現場で活躍している歯科衛生士がお話を伺いながら、同じ歯科衛生士目線で一緒に考えます。お気軽にお声掛けください。

日 時 2月18日(日) 10:00~16:00

場 所 第1ファッション展示場 愛知県歯科衛生士会コーナー

《感染防止対策を実施しています。ご不便をおかけいたしますがご協力をお願いいたします》